

## 別紙

### 契約単価変更基準（暖房用燃料）

契約事業者との価格変更を公平かつ適正に実施するため、次に基づき契約単価の変更を行うものとする。

#### 1 用語の定義

##### （１）調査月

北海道が変更契約の可否を検討する月

##### （２）当初月

契約期間の初日の属する月

##### （３）市場価格

経済産業省資源エネルギー庁が公表する石油製品価格調査のうち、給油所小売価格調査（ガソリン、軽油、灯油）における毎月１日の直近日に調査された「灯油配達（１８リットル・北海道局）価格を１８で除した価格（消費税及び地方消費税の額を除いた価格（小数点第３位以下は切り捨てる。））」を採用する。

##### （４）市場価格の差額

調査月の市場価格から当初月の市場価格を差し引いた額のことをいう。

##### （５）ＣＩＦ（シフ）価格

石油連盟が公表している貿易統計のうち、「01.原油・粗油ＣＩＦ価格（旬間速報）」における、調査（当初）月の前々月の中・下旬分と前月上旬分の合計金額を、当該期間の合計数量で除した価格のことをいう。

##### （６）ＣＩＦ価格の差額

調査月のＣＩＦ価格から当初月のＣＩＦ価格を差し引いた額のことをいう。

##### （７）単価変動額

市場価格の差額に当初契約単価から現行の契約単価を差し引いた額を加算した額のことをいう。

$$\text{単価変動額} = \text{【市場価格の差額】} + \left( \text{【当初の契約単価】} - \text{【現行の契約単価】} \right)$$

##### （８）経費等変動額

いわゆる仕入価格の変動を表す指標とするもので、市場価格の差額からＣＩＦ価格の差額を差し引いた額のことをいう。

$$\text{経費等変動額} = \text{【市場価格の差額】} - \text{【ＣＩＦ価格の差額】}$$

#### 2 契約単価の変更及びその方法

契約単価の変更及び方法は、次のとおり行うものとする。

##### （１）契約単価の変更は、単価変動額に１円以上の増減が生じた場合に行うものとする。

##### （２）（１）の場合において、経費等変動額の状況に応じ、契約単価を次の方法により決定する。

###### ア 経費等変動額が「０円以上（プラス）」のとき

契約単価の変更額は、単価変動額とし、その額に１円未満の端数があるときはその額を切り捨てた額とする。

###### イ 経費等変動額が「０円未満（マイナス）」のとき

契約単価の変更額は、単価変動額に１円を加算した額とし、その額に１円未満の端数があるときはその額を切り捨てた額とする。ただし、その額が「０円」となる場合（単価変動額がマイナス１円台のとき）については、その月の契約単価の変更は行わないものとする。

##### （３）契約変更の適用の時期は、調査月の１日とする。

##### （４）初回の契約単価の変更

契約期間の初日の属する月の翌月から実施する。